



成人式実行委員の皆さん
(上)野木中学校 (下)野木第二中学校



平成29年成人式 二十歳の誓い

1月8日(日)、エニスホールにおいて野木町成人式が開催されました。当日は新成人212人が、艶やかな振袖や清らかなスーツに身を包み、旧友や振師の方との会話に花が咲く姿や、笑顔で記念撮影をする姿があちこちで見られました。



新成人代表あいさつ
「二十歳の誓い」 新成人代表 川井 悠喜
本日は、私たちの新たな門出をこのような盛大な式で祝福していただき、誠にありがとうございます。新成人を代表いたしました。挨拶と誓いの言葉を述べさせていただきます。

私たち新成人は、今年度をもって20歳となり、成人として扱われます。成人とは何でしょうか。大人、一人前、単に20歳以上などといくつか意味を含んでいますが、恐らく一人前の立派な大人には、20歳の誕生日を迎えたその日からなれるわけでも無く、この成人式を終えた時からなれるわけでも無いと思います。しかし、私たちは自分を見つめなおし、これからの自分のことを少しでも考えてみることは今からでもできると思います。

今ここにいる新成人の皆さんは中学、高校時代にどのような日々を過ごしていましたか。また、その時期に自分が思い描いていた人に今なれていますか。この先の未来のことは不安ですか。人それぞれかと思いきや、多くの方が中学、高校時代にたくさん悩み、つらい経験をしたことがあると思います。その悩んでいる時期は「今が一番つらい」と感じていたかもしれません。しかしそんな「一番つらい時期」を乗り越えて、私たちは今この場所にいます。たとえ昔思い描いていた自分になれていなくても、この20年間を生きてきたというところが大きな糧になります。大人となった今が辛くても、つらい時期を乗り越えてきた過去があります。それでもまだ胸が苦しければ、周りの人へ手を伸ばし、助けを求めましょう。反対に、懸命に手伸ばし助けを求めよう。自分自身で踏みとどまり、潰れず、押し戻されない耐久力と、頑張つて前進しようとする背中を誰かが押してくれる推進力で、私たちはこの先へ進んでいくのではないかと思います。

今まで私たちが支え、背中を押し、時には私たちの前から引張つてくださったのは、家族を含める周りの大人の方々です。今でも多くの方々に支えられています。もがくことに精一杯で、あるいは恥ずかしくて昔は素直に伝えられなかった「ありがとう」を大人になつた今、きちんと伝えましょう。そして、この先自分だけでなく周りに目を向け、誰かを支え、「次世代を創っていく大人」としての自覚を持つて生きていけるよう精進してゆくことを今ここに誓い、新成人代表の言葉とさせていただきます。

